

○愛知県岡崎市の取組

（1）第1期計画の取組による成果

岡崎市では、平成28年度から令和7年度（10年間）を計画期間とする第1期歴史まちづくり計画により、以下のような成果をあげています。

- ・岡崎城跡の発掘調査による城郭遺構の解明や、石垣の復元整備等による岡崎城跡の魅力向上を図り、発掘調査の現地説明会の参加者が延べ約3,000名となるなど、高い関心を集めることができました。
- ・「旧富田家住宅（主屋・土蔵）」の大規模改修を支援し、レストラン及び郷土史資料展示室として再生することにより、歴史的建造物の保存・活用を推進するとともに、登録有形文化財の登録につなげることができました。



岡崎城跡発掘調査現地説明会 さかたにくるわ
（坂谷曲輪）



旧富田家住宅（主屋・土蔵）
【登録有形文化財、歴史的風致形成建造物】

（2）第2期計画の概要

岡崎市では、岡崎城を中心として、大樹寺を始めとする松平氏・徳川家ゆかりの寺社周辺及び近世の宿場町であった岡崎宿、藤川宿を含む「岡崎城下及び東海地区」や、重要文化財を始めとする歴史上価値の高い建造物の集積がみられる「滝山寺地区」等において、固有の風情を感じる歴史的風致が形成されています。

第2期計画では、引き続き、歴史文化資産の調査研究及び普及啓発や、歴史的建造物等の保存・活用、景観計画と連携した良好な市街地景観の形成等により、歴史都市・岡崎ならではの魅力と風格を備えた歴史的風致の維持向上を図ります。また、歴史まちづくりの参加機会の提供や先端技術の活用等の視点を取り入れ、歴史文化資産を活かした観光振興に取り組み、市民及び来訪者の理解度や満足度の向上と、郷土への誇りや愛着の醸成を図り、歴史的風致を将来世代へと継承してまいります。



瀧山寺鬼祭り
【重要無形民俗文化財】



岡崎城でのプロジェクションマッピング